

共栄大学硬式野球部が市長を表敬訪問しました



【左から川岸コーチ、廣瀬主将、石川市長、秋山学長、新井監督】

東京新大学野球連盟1部春季リーグ戦を優勝し、「第70回全日本大学野球選手権記念大会」に出場する共栄大学硬式野球部が、令和3年6月3日（木）に市長を表敬訪問しました。

共栄大学硬式野球部は、2002年に設立され、現在、「大学日本一」を目標に、活動されています。
本年4月から5月にかけて行われた春季リーグ戦では、8勝3敗で見事優勝し、6月7日（月）から始まる「第70回全日本大学野球選手権記念大会」に4年ぶり3回目の出場が決定しています。

冒頭、共栄大学の秋山高善学長から「選手、監督、コーチ全員が頑張った結果。全国大会での結果も楽しみに、ぜひ応援していただきたい。」とのお話がありました。

石川市長は「コロナ禍で日本・世界全体が落ち込んでいる雰囲気を感じ、皆さんの活躍で払拭してほしい。初戦に勝って弾みをつけ、目標の『日本一』に向けて頑張ってください。活躍を期待しています。」と激励の言葉とともに「必勝風」を贈りました。

また、懇談中には、新井崇久監督から「コロナ禍において、班を分けた練習や寮内では時間差で食事をするなど、工夫をした練習と生活を心がけている。また、試合に向けては、人工芝への対応など試合を想定した緊張感ある練習をしている。」と、現在のチームの状況について説明がありました。

共栄大学は6月8日（火）11時30分から東京ドームにて東北福祉大学との試合が予定されており、目標である「大学日本一」に向けた戦いがはじまります。

ひろせだいき
■廣瀬大樹主将（春日部東高校出身）のコメント

「持ち味である小技などチームの徹底力を発揮し、リーグ戦を優勝することができた。全国大会では、ベンチ入りメンバーとスタンドで応援するメンバー全員のチーム力で勝ちたい。共栄大学硬式野球部として、全国の舞台での初勝利を目指して頑張ります。」



【必勝凧を贈呈】



【懇談中の様子】